

登録コード	E2810900	開講年度	2026			
授業科目	被服学基礎				担当教員	
英文授業名	Fundamentals of Clothing Science				副担当	沖嶋 直子
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生
講義室	教育W505講義室	授業形態	講義・実技	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				中高家庭科の最低限の指導力を身に付けるために、衣生活指導の基礎的倫理観を身に付ける。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				中高家庭科の最低限の指導力を身に付けるために、衣生活指導の基礎的知識と技能を習得する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	中学校・高等学校の家庭科衣生活領域の指導内容に関する被服学の基礎的事項を解説します。 本授業は持続可能な開発目標（SDGs）に関する内容を含んでいます。 受講生の皆さんは、毎時間教科書の該当箇所の予習復習を行うとともに、講義に欠席せず、理解しにくい箇所は教員に主体的に質問するなどして、毎回授業内容を自分の衣生活に照らし合わせて、自己の課題解決に繋がるように学習を進めるとよいです。 後半の製作実習では、布を用いた造形の視点から、材料の選択、縫製方法選択に関する学習を進めていきます。さらに基礎的な技能について正しい方法を習得してもらいます。					
(5)授業計画	第1回：（4/7）ヒトはなぜ装うのか、気候風土と衣服（対面 教科書第1,2章） 第2回：（4/14）衣服のかたちの変遷（遠隔等 教科書第3章） 第3回：（4/21）装いと健康（遠隔等 教科書第4章） 第4回：（4/28）装いによる気候調節（遠隔等 教科書第5章） 第5回：（5/12）製作実習（手縫いの基礎練習、対面） 第6回：（5/19）動きやすさと衣服（遠隔等 教科書第6章） 第7回：（5/26）衣服の素材と加工（遠隔等 教科書第7章） 第8回：（6/9）製作実習（手縫いで小物づくり（ティッシュケース）、対面） 第9回：（6/16）製作実習（ミシン縫いで袋づくり（弁当袋、買い物袋）、対面） 第10回：（6/23）衣服の品質と管理、ヒトの成長と体つき（遠隔等 教科書第8,9章） 第11回：（6/30）アパレル産業と既製服（遠隔等 教科書第10章） 第12回：（7/7）装いのコミュニケーション（対面 教科書第11章,レポート課題） 第13回：製作実習（ミシン縫いで袋づくり（弁当袋、買い物袋）、対面） 第14回：ユニバーサルデザインと装い・装いと生活環境、授業アンケートの実施（対面 教科書第12、13章） 授業担当者の都合により、順序の若干の変更の可能性がある。					
(6)成績評価の方法	講義については課題についてのレポートで評価する。 製作実習については、その過程も含めて評価する。具体的な評価法については開講時に説明する。					
(7)成績評価の基準	講義については課題レポートの内容で評価する。課題レポートに関しては、授業で扱った内容と同レベルの課題の記述ができれば水準に到達していると評価する。応用的なレベルの課題の記述ができれば水準よりやや上に到達していると評価する。発展的なレベルの課題の記述ができれば水準よりかなり上に到達していると評価する。非常に難易度の高い高度な課題の記述ができれば水準より卓越した状態に到達していると評価する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(8)事前事後学習の内容	講義 事前学習：授業時間前に教科書や資料で予習し、内容を把握し、疑問点を整理する。 事後学習：講義内容を復習し、ノートを整理する。必要な知識の習得を確認する。 製作実習 事前学習：当日実施する実習の内容を事前に確認し、必要な材料や道具類を揃えて滞りなく実習ができるように備えること 事後学習：当日実施した内容について、自宅で振り返り、技術の向上をはかり、次の実習に備えること なお、この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。					
(9)履修上の注意	担当教員のスケジュールにより、日程が前後することがあります。eALPSの掲示や担当教員からの連絡を十分に確認して履修すること。 教科書は必ず購入してください。教科書に沿って授業を進めます。補足資料はe-ALPSが当日配布するの					

(9)履修上の注意	で、毎回授業前にe-ALPSを確認して下さい。 講義は対面とオンラインで行います。オンラインでの出席確認のため、カメラのONを求めます。
(10)質問，相談への対応及び連絡先	科目全体の相談、製作実習担当のゲストティーチャーへの質問や相談は、沖嶋を（ okishima_naoko@shinshu-u.ac.jp ）を通して受け付けます。 講義内容についての質問は講義時間のほか、e-ALPSのフィードバックに記入してください。
【教科書】	ビジュアル衣生活論 岡田宣子編著、建帛社、2530円 B5版 184頁 978-4-7679-1445-9
【参考文献】	深井晃子他、増補新装 カラー版世界服飾史、美術出版社、ISBN 978-4568400779田村 照子他、衣環境の科学、建帛社、ISBN 978-4767910475 日本衣料管理協会、アパレル設計論 アパレル生産論 片山倫子 編著、衣服管理の科学、建帛社、ISBN 978-4-7679-1048-2 西松豊典、最新テキスタイル工学II、ファイバージャパン、ISBN 978-4908111099 文化出版局他編、ファッション辞典、文化出版局、ISBN 978-4579501588 JISハンドブック 31 繊維、日本規格協会、ISBN 978-4542191396